



社会福祉法人

群馬いのちの電話だより

相談電話 027-221-0783

2021.12 Vol.69

編集/社会福祉法人群馬いのちの電話 広報委員会 住所/〒371-8691 前橋中央郵便局私書箱6号 電話/事務局 027-221-1880 FAX027-220-5666

コロナ禍にあって思うこと

社会福祉法人群馬いのちの電話

研修顧問 **すずき いくぞう**

いつしか秋の気配も深まり、落ち葉掃きの季節となりました。舞い散る落ち葉一枚一枚が実に個性的です。ふっとレオ・バスカーリヤの絵本『葉っぱのフレディ』を想い起こしました。一枚の葉っぱ「フレディ」の一生（春夏秋冬）を描いたいのちの旅の物語です。これは、私たちのライフ・サイクルを象徴しています。誰にもその人固有の人生の物語があります。

人生の物語に耳を傾けて聴くことの大切さを記したのは、「コモンウィールがん支援プログラム」を実施しているレイチェル・ナオミ・リーメン女史です。著書『失われた物語を求めて』—（キッチン・テーブルの知恵）には、次のように記されています。

「他者と結びつく方法でもっとも基本的で、しかも効果的なのは、耳をかたむけること。ただ、耳をかたむける。互いに心からの注意を払うことこそ、最上の贈り物です。反応する必要もない、ただ聴いていればいいのです」と語っています。

また、「技術がこれほどの発達をとげたとい

うのに、わたしたちはあまり健やかではありません。いまふたたび、わたしたちは互いの物語に耳をかたむける必要があるのでしょうか」と臨床経験から指摘しています。

昨今の新型コロナ感染症禍にあって、人と人の中に飛沫を飛ばさないようにマスクや透明な遮蔽物を設置して意思疎通をはかる姿は、なんともやるせない思いにかられます。

過日「こころの時代」で、日本のホスピスの先駆者柏木哲夫医師が「人と人を隔てるコロナ禍にあっても、心まで閉ざしてはいけません」と語った言葉が印象的でした。

感染予防のために長期にわたって面会制限をせざるを得ない時に会った絵本『会いたくて、会いたくて』は、老人ホームで暮らすおばあさんと孫が、「糸電話」で結ばれる心あたたまる物語です。

糸電話を通して「大切なのは人を思う心。気持ちが強ければ、行けなくても、会えなくても、いろんなものがキラキラとかがやいて見えてくる。夜空の星や月を あの人もながめてる。雨

ひとりぼっちで悩まずに……

相談電話 **027-221-0783**

相談受付時間 午前9時～午前0時（年中無休）
毎月第2・4金曜日は24時間受信

ナビダイヤル
0570-783-556

受付 10:00～22:00
※有料

フリーダイヤル
（毎月10日）

0120-783-556
（8:00～翌8:00）

や風の音に みんなもリズムをとってる。会えなくたって、喜びをかんじられる。時間を留めて、じっくり世界をみつめてごらん」と、おばあさんは孫に語りかけました。

このおばあさんと孫との出会いの物語は、海洋生物学者レイチェル・カーソン女史と幼い甥との出会いのなかから紡がれた著書『センス・オブ・ワンダー』のなかで、私たちが失ってしまいがちな「神秘さや不思議さに目を見はる感性」の重要性について記しています。

一昨年以來、COVID-19の世界的感染拡大の状況下にあつて国際情勢は混迷し、地球規模の環境破壊・異常気象をはじめ、さまざまな局面において人類（ホモ・サピエンス）がもたらした危機が叫ばれています。

情報通信技術が進化したおかげで、瞬時に遠くに情報が行き渡るたいへん利便性の高いコミュニケーション・ツールが次々に開発されています。しかし、私たちの日常は、日々許容限度を超えた膨大な量の情報が次から次に飛び交い、その情報汚染によって本当に必要なものが何であるかが分からなくなっているように思えてなりません。

また、昨今の「仮想現実（バーチャル・リアリティー）」に馴染み過ぎているからでしょうか、身近に出来事が起こらない限り、他者の生の気持ちに無関心・無感覚になりやすく、人間相互の親密な対話能力はあまり深められているようには思えません。

アナログ的思考になれきった小生には、出来事がデータ処理され記号化・数量化された情報として伝えられることに不安と不信を覚えるのは、私だけでしょうか。

日常生活を営むために、人は誰しも個別な人格をもった一人として日々活動しているのですが、人の移動をあたかも「物流」と同じような感覚で「人流」なる言葉をもって言い表しているのには非常に不快感を覚えました。

科学技術の発展した今日、私たち一人ひとりの「生きもの感覚」が、根源的に問われているように思えます。

新型コロナ感染拡大のさなかに開催された東京オリンピック・パラリンピックの功罪はさまざまでしょうが、度々目にしたキャッチ・フレーズ“United by Emotion”に心引かれるものがありました。“Emotion”は「感情・情緒」を意味します。「感動・感激」といった強く深い感情をも表現します。この文言は、競技の結果記録ではなく競技する人とそのパフォーマンスを見る人との間に生まれる感動を共有することによる一体感を表現していました。まさに、“Emotion”は、人と人を結ぶ感性の絆です。

パラリンピック開催時の感動的なモットー“*We have Wings*”は、「多様性」「共生」が尊重される今日に相応しい合言葉です。さまざまな障害があつても私たちは希望の翼をもっていることを象徴していました。

「群馬いのちの電話」は、来年開局30年を迎えます。いのちの電話を必要としている一人ひとりには、さまざまな困難を抱えて今の時代を生きる生身の人たちは、電話をかけてくる人の生な声に、心を沿わせて聴き取ることによってかけ手と受け手との間に結ばれる共感的絆を大切にしてきました。それは、人間は互いにいのちをケア（配慮）し合うことによって共に生きているからです。

いのちの電話は、人工物に囲まれて人間疎外感の満ちる現代社会にあつて、人間が人間であることの倫理的証しではないでしょうか。

私たちは、他者の発する苦しみ・痛み・悲しみ・喜びの声に呼応する感受性を育み、磨いていく努力をこれからも重ねていきます。

蛇足のようなのですが、地球環境の汚染と破壊の実態を告発し、警告を発した『沈黙の春』の著者レイチェル・カーソン女史の遺書ともいえる『センス・オブ・ワンダー』は、次のようなメッセージで結ばれています。

「自然にふれるという終わりのないよろこびは、けっして科学者だけのものではありません、大地と海と空、そして、そこに住む驚きに満ちた生命の輝きのもとに身をおくすべての人が手にいれられるものなのです」と。

群馬いのちの電話における コロナ禍での活動報告④

全国的なコロナ禍での相談活動も2年目に入り、まだまだ予断を許さない状況です。長引く緊張の日々ですが、換気や消毒、三密にならないよう気を付けながら活動を続けていきたいと思えます。

2021年5月	県の警戒度4に伴い、5、6月の継続研修および委員会活動を中止しました。
7月	警戒度が3に引き下げられたことから、7月の継続研修および委員会活動を再開しました。
8月	県にまん延防止等重点措置が発令（8月8日～31日）されたことから、8月の委員会活動を中止としました。（継続研修は8月はお休み）
9月	県に緊急事態宣言が発令（8月20日～9月12日（後に30日まで延期））されたことから、9月の継続研修および委員会活動を中止しました。
10月	緊急事態宣言の解除により（県独自の警戒度は10月7日まで4）、10月からの継続研修および委員会活動が開始されました。
	第2、第4金曜日の24時間相談電話を再開しました。
10月13日	1年遅れで29期相談員養成講座が開講されました。
11月7日	約半年遅れで9期研修スタッフ養成前期講座が開講されました。

群馬いのちの電話
の活動が
紹介されました。

記事 いのちの電話 コロナ禍のジレンマ

「相談員若い人にも」
「相談員若い人にも」

「ソフト制限 回線確保」
「ソフト制限 回線確保」

「その他主な相談先」
このころの相談相談員ダイヤル 0570・064・656
よりそいホットライン 0120・279・338
チャイルドライン 0120・99・7777
群馬県子供SOSダイヤル 0120・0・78310

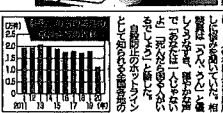
悩みを抱える人の顔を見て自殺予防や「群馬いのちの電話」で、新型コロナウィルス感染拡大を背景に将来への不安や生きづらさを抱える人からの相談が相次いでいる。今年はコロナ下で受け付けも一時中断



群馬いのちの電話

**仕事失い 将来不安 外出自粛でDV
コロナ下 寄り添う**

「11月14日現在」
相談員 10名
相談員養成講座 29期
研修スタッフ養成講座 9期



- このころの相談相談員ダイヤル 0570・064・656
よりそいホットライン 0120・279・338
チャイルドライン 0120・99・7777
群馬県子供SOSダイヤル 0120・0・78310

上州日和

風邪や5月新卒を次ぎける日は
即ち1年で1年を過ぎやすき
症に注意する。個人には新卒
も。このころの相談員も
ら。このころの相談員も
ら。このころの相談員も